

令和4年度第4回厚木市立病院運営審議会会議録概要

- 1 日 時 令和5年3月17日（金）
午後6時30分から午後8時10分まで
- 2 場 所 A棟2階大会議室
- 3 出席者 <厚木市立病院運営審議会委員>
三宅会長、難波副会長、杉山委員、伊藤委員、佐々木委員、
武藤委員、笹生委員、佐藤委員、小谷委員、山口委員
<厚木市立病院>
長谷川病院事業管理者、岸病院事業局長、藤原副院長、郡山副院長、
小路経営管理課長、藤井病院総務課長、佐藤施設用度課長、井上医事課長、
多田患者支援センター長、吉川経営管理課経営・経理係長、
赤野経営管理課副主幹、中山医事課主査、大村経営管理課主事

4 会議概要

(1) 開会

長谷川病院事業管理者あいさつ

(2) 審議会の開催の確認

委員の過半数の出席が確認されたため、審議会の開催成立

(3) 会議の傍聴者の有無

本日の審議会の傍聴希望者はなし。

(4) 議事 <各議題説明後、事前の質疑事項について回答>

議題(1) K P I（重要業績評価指標）の進捗状況について

資料1に基づき小路経営管理課長説明

当院のコロナ病床については、国や県から新たな運用が示されたこともあり、神奈川県と確保病床数の協定を変更し、フェーズ1及び2の確保数（各24床）を7床、13床とした。また、県は、柔軟な確保病床の運用を推奨していることから、地域の状況に応じた確保病床の変更やコロナ患者が居ない場合には、一般患者を入院させるなど、柔軟な対応をしている。

収入確保については、病床利用率及び1日当たり入院患者数はコロナ患者を除いて、1月は82.8%、248人となった。県フェーズは「3」のため、25床確保しているが、柔軟な運用により、今年度最多の入院患者数を確保した。入院単価及び手術件数は堅調に推移しているが、外来単価は目標値と開きがあるため、引き続きの課題となる。

患者確保については、救急搬送件数は12月及び1月は目標値を超えたが、救急要請が非常に増えたことに対して、コロナ対応や病床状況により断ることが増えたため、救

急応需率が悪化している。紹介患者数・紹介率は12月に過去最高を記録し堅調に推移しているが、逆紹介患者数・逆紹介率は伸び悩んでいるため、地域連携を進める上で、課題となっている。

質の向上については、外来患者数が目標値に達しており堅調に推移している。

政策的な医療となる小児・周産期については、分娩件数が1月時点で年間目標値を超える実績となった。ハイリスク分娩率も引き続き高いことから、公立病院の役割をしっかりと果たせていると考えている。

議題に対する委員から事前の質疑について

別紙「令和4年度第4回運営審議会 質疑・意見について」（1、2ページ、質疑1～9）のとおり回答

杉山委員

入院単価の実績値が目標値を超えた要因は何か。

小路経営管理課長

コロナによる特例加算も含むが内科の実績が上がっているほか、手術件数では脳神経外科、産婦人科、眼科の実績が増えていることなどが要因と考えている。

また、新たな施設基準や加算取得など取り組んできた結果、平成30年頃から堅調に推移している。

佐藤委員

救急搬送件数について、市外の病院へ搬送が増えて件数が減る可能性はあるか。
分娩件数・ハイリスク分娩の増加はコロナ禍で増えているのか。

小路経営管理課長

救急搬送件は、主に市内及び愛川町から受入れている。近隣の消防署管内ごとの救急受入件数などを参考に分析しており、引き続き、動向などについて研究していく。

分娩件数等については、市内の要となる役割を担っているため、コロナ禍による受入れや地域のクリニックからの紹介により増えている。近年は出産件数が減少する中で、他市の方が当院で出産するなどして増えている。総合病院の強みを生かした各診療科が連携した医療を提供できたことが増加につながっていると考えている。

難波副会長

救急搬送受入後に1泊入院をする方はいるか。

長谷川病院事業管理者

医師の判断により入院が必要となる場合には病棟に移動し入院をしていただくが、即時退院される患者さんは少ない。

三宅会長

救急搬送件数の増加及び応需率の向上には、ベッド数等に限りがあると思うが、医師が効率的に患者の受入・処置の判断ができるかが重要になる。

紹介・逆紹介については、コロナ禍で会合等の機会が限られていたため、顔を合わせることが少なかった。今後はそのような場が増えていくことで、顔の見える関係ができると、紹介・逆紹介は増えていくと思っている。

議題(2) 公立病院経営強化プラン補足版について

資料2に基づき小路経営管理課長説明

前回、第3回会議の際に素案を配布後、委員の皆様からの意見、神奈川県からの助言、市の庁議を踏まえて策定した。今月27日に開催される厚木市議会全員協議会において報告後、市立病院のホームページで公表する。

1 ページ目については、策定の趣旨となり、この補足版は国が示した経営強化ガイドラインに基づき、経営強化プランとして不足する内容のみを補足している。新計画と経営強化プランの関係性がより分かりやすいように、「図」を素案の時と変更した。補足版は、経営強化ガイドラインを踏まえた対応として策定したものであり、当院の施策や方向性は、新計画に記載している。

2 ページ目以降については、経営強化プランの補足として、既存プランで不足していた6項目を補足している。補足項目は、県から、働き方改革や、施設・設備の適正管理などについても追加の助言があったが、いずれも新計画に記載していることから、素案の時の6項目と変更はない。(意見等については、資料2-1参照)

国は、令和5年度までの策定を求めているが、この補足版の策定により、国が求めている経営強化プランは策定済みとなった。ただし、この補足版は、あくまでも経営強化ガイドラインを踏まえた対応として策定したもので、当院の施策、取組については、新計画に基づき、健全経営に向けて、しっかりと取り組んでいきたいと考えている。

議題に対する委員から事前の質疑について

別紙「令和4年度第4回運営審議会 質疑・意見について」(3ページ、質疑1~3)のとおり回答

佐藤委員

今後、修正医業収支比率は上がっていくのか。また、独立採算を基本とするならば、収支比率が上がった際は負担金を減らすことができるのでは。

小路経営管理課長

経営計画に記載している収益や費用の額に基づき算出した結果では、令和8年度まで上がっていく。また、市立病院は、公立病院として「経済性」と「公共性」が求められる立場にある。企業としては、独立採算を基本とすることに間違いはないが、採算性のみでなく、救急や小児・周産期などの不採算医療についても、行政と連携して地域の

医療を守っていかなければならないと考えている。政策的な医療を他の医業収益だけで補うことは厳しいため、現在の経営計画は負担金を含めた中で経常収支 100%を目指していく計画としている。

佐藤委員

市立病院の看護師の給与は近隣の病院に比べて高いため、退職する方が少ないと聞
くが、若手看護師へ配分など給与体系の見直しは検討しているのか。

藤井病院総務課長

公務員の看護師は年齢と共に上がっていく給与体系になっている。地方公務員法と
地方公営企業法を踏まえて判断をしていく。

難波副会長

デジタルトランスフォーメーションについて、どう考えているか。また、取組によ
る効果はどの部分にあると思うか。

小路経営管理課長

経営計画上でも、今後取り組むべき必須事項と考えている。電子カルテを取り巻く
環境や院内全体の事務作業の電子化などがある。

国が推進するDXは人材不足を補うためのものであると思うが、患者サービスや医
療従事者の負担軽減にもつながり、働き方改革に寄与できると考えている。

三宅会長

市立病院に対する負担金は減らすのではなく、病院の機能や環境を充実させるため
の投資を行うことで、医師や患者から選ばれる病院になっていただきたい。

難波副会長

公舎の運営について、近況はどうか。

藤井病院総務課長

医師と医療従事者の2つの公舎がある。土地は神奈川県から20年間借りており、今
年が最終年であったが、引き続き20年間借りることが決まった。今後、公舎の改修を
予定している。

小谷委員

人材確保について、介護施設を例にすると退職者が少ない所は給与だけでなく、人
間関係がポイントになっている。その他、上司が率先して休暇を取得して、部下が取り
やすい環境を整えることや採用当初は夜勤を入れないなどの配慮する取組を行う事業
所の定着率が高いと聞いているので、市立病院にも取り組んで欲しい。

議題(3) 地域医療支援病院について

資料3～5に基づき井上医事課長説明

令和4年度の紹介、逆紹介率の状況については、1月までの累計で紹介率85.5%、逆紹介率80.0%となった。地域医療支援病院の紹介、逆紹介率に関する承認要件は、全て満たしている。

共同利用の状況については、1月までの累計（前年度比）でCT117件（△28件）、MRI62件（△41件）、RI核医学検査66件（△11件）、放射線治療29件（+14件）で合計274件（△66件）。

医療従事者に対する研修の状況については、感染状況に応じた院内規程に基づき、感染対策を徹底した上で開催した。令和5年度については、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されることから、状況に応じて、研修計画に基づき開催していきたいと考えている。

議題に対する委員から事前の質疑について

別紙「令和4年度第4回運営審議会 質疑・意見について」（3、4ページ、質疑1～2）のとおり回答

佐藤委員

救急搬送件数について、一度に3、4台に来ることは月にどのくらいあるのか。

井上医事課長

時間帯によって変わるが数回程度ある。その日ごとの陽気や天候などによって搬送件数が変わっていると考えている。

議題(4) その他（ア）手術支援ロボットの導入について

資料6に基づき佐藤施設用度課長説明

手術支援ロボットによる腹腔鏡手術は、患者さんへの侵襲が少なく、複雑で細かい手術が可能となる。対象術野は前立腺、腎、直腸の悪性腫瘍などを想定している。料金等はリース契約7年間、5億8千万円となる（周辺機器、手術室の改修、メンテナンス費用も含む。）。

今後の予定については、3月21日ダビンチ・手術台の納品。その後、周辺機器納品、電気工事、研修・トレーニングを並行して行う。

なお、4月中旬に実際の機器を展示した内覧会を予定しているため、詳細な日程が決まり次第、委員の皆様に御案内する。

議題に対する委員から事前の質疑について

別紙「令和4年度第4回運営審議会 質疑・意見について」（4ページ、質疑1）のとおり回答

杉山委員

市立病院が全額費用を負担するのか。

小路経営管理課長

医療機器のリースで資産計上するため、一般会計の負担金（1/2）がある。

佐藤委員

ダビンチは最新機種のものか。またヒノトリではなく、ダビンチを選定した理由は。

佐藤施設用度課長

当院は最新のダビンチSPでなくXiを選定した。なお、XiとXを比べた際、Xiは関節が多く操作性が高いことから決定した。

また、ヒノトリは販売開始から日が浅く、保険収載の範囲が狭いこともあり、ダビンチとなった。

長谷川病院事業管理者

その他の理由として、医師の派遣元である慈恵医大がダビンチを導入しているため、操作性が異なることがないようにした。また、今後の医療を取り巻く環境を見据え、手術支援ロボットの導入を決定した。

議題(4) その他(イ) 浸水防止対策事業の実施について

資料7に基づき佐藤施設用度課長説明

現在、令和5年度の工事に向けて準備を進めている。対象施設は病院棟、RI排水処理棟、オイルポンプ室となる。敷地内の浸水規模が最大1.86mのため、嵩上げ等の措置を講じ、建物内への浸水を防止する。工事費の予算は6億4千万円となる。

なお、今後の予定は、今年度実施した実施設計に基づき、本年5月に浸水防止対策工事を契約し、年度末の完成を目指して事業を進めていく。

議題(4) その他(ウ) 病院機能評価の受審について

資料8に基づき藤井病院総務課長説明

当院の基本理念の実現に向けて、病院機能評価を受審することとした。受審に向けて、院内にプロジェクトチーム等を設置し準備を進めている。外部コンサルタントによるヒアリングを実施し、課題解決に取り組みながら、令和5年8月～9月に模擬審査の受審を予定している。

佐藤委員

外部コンサルタントは費用も発生するため、受ける必要があるか。

藤井病院総務課長

外部コンサルタントについては、費用がかかることは承知しているが、機能評価プロジェクトチームの会議で検討し、入れることを決めた。

長谷川病院事業管理者

プロジェクトチームが受審をした近隣病院に視察をした結果、外部コンサルタントの必要性などについて助言もあり決定した。実際、様々な指摘や助言を受けて参考となっている。

佐藤委員

今回は外部コンサルタントのノウハウを取り入れて、次回の更新時は自らの力で取り組むことで、更に質が高まると思うので、ぜひお願いしたい。

杉山委員

今回は、更新ではなく新規になるのか。

長谷川病院事業管理者

更新ではない。前回の更新の際に、新病院建設の時期と重なったことから、建設後に改めて取り直す予定であったが、新型コロナウイルス感染症の対応により受審が遅れた。

小谷委員

受審の料金はいくらになるのか。

藤井病院総務課長

おおむね 250 万円程度である。2 日間でサーベイヤーは 6 名となっている。

議題に対する委員から事前の質疑について

小路経営管理課長

別紙「令和 4 年度第 4 回運営審議会 質疑・意見について」（4 ページ、質疑 2）のとおり回答

(5) その他

大村主事

令和 5 年度の審議会の日程については、第 1 回会議を 5 月下旬から 6 月上旬に開催を予定している。詳細は改めて事務局から御案内する。

5 閉会

難波副会長あいさつ